

一般質問

吉岡
議員

○調川港用地造成の進捗状況と住民への説明会について

質 昨年から現在までの進捗状況をお答えください。

水産課長 令和4年6月・漁協組合長との協議、7月・漁協の松浦、新星鹿、青島地区役員との協議、8月・漁協組合長との協議、11月・松浦、新星鹿、青島地区で漁業者説明会、12月・出された意見等を組合長、筆頭理事へ報告、令和5年1月・副市長から組合長へ事業推進のお願い、2月・松浦、新星鹿、青島地区役員との協議、4月・若手漁業者との意見交換会を実施する等、関係者皆さまにご理解いただけるよう協議を重ねています。

質 地元自治会を中心とした町民向けに、現状と今後についての説明会を早期開催していただきたいが、市長の考えをお聞かせください。

市長 令和2年9月に開催した説明会以降の市の取り組み状況について、調川地区長の皆さまにお集まりいただき、説明会を開催したいと考えています。

○本市のスポーツ振興と市民運動公園の現状について

質 屋外施設のナイター照明料金について、高校生以下の減免措置が昨年度で終了したため、再度減免措置の検討をお願いしたいがお答えください。

生涯学習課長 高校生以下の使用料については、通常料金の2分の1とする措置で対応しているため、ご理解をいただきたい。

質 市長はかねてより西九州道の整備運用が開始されたら、スポーツ大会は他市の開催もありと言われてきたが、その考えは今も変わらないかお答えください。

市長 佐世保、平戸、北松、松浦といった広域連携による施設の活用は、西九州させぼ広域都市圏の中で取り組んでいる事業のため、考えは変わっていません。

質 建設から約50年経つ市民運動公園について。改修基本構想は作成しているため、今後実行しないのか市長の考えをお聞かせください。

市長 今後の具体的なスケジュールはお示しできないが、市役所本庁の耐震化、福島地域の複合庁舎、御厨公民館改築など、施設の整備、新規事業が山積しており、公共施設等総合管理計画、財政状況等を考慮しながら進めます。

一般質問

神田
議員

○伊万里湾における赤潮被害防止対策の進捗状況について

質 赤潮被害防止対策については、行政の支援は必要不可欠だと考えるが市長の見解を伺いたい。

市長 赤潮の被害防止のためには、赤潮の発生を防止する対策が最も重要だと考えています。しかしながら、いまだに赤潮発生の原因や有効な対策が確立されておらず、養殖現場においては、毎年、赤潮の監視調査や防除剤の散布など、多大な労力を要していることから、赤潮の発生を抑止する対策が強く望まれていることは承知しています。

赤潮が一旦起こると甚大な漁業被害につながる恐れがあり、養殖業者の皆さまにとっては死活問題になりかねません。そうならないためにも、現在、長崎県において、伊万里湾における赤潮発生の原因を解明するため、大学や国などの専門家の協力を得ながら赤潮の監視・観測に取り組まれていますので、赤潮発生を防止する有効な取り組みがあれば、行政として必要な支援を検討していきたいと考えています。

○松浦市地域公共交通について

質 鷹島く入野線の路線バスについては、デマンド型への移行が最適と考えるが、今後どのような運行方法を考えているのかお尋ねしたい。

産業振興課長 鷹島く入野線の利用状況が朝と夕方の児童生徒の通学時間帯に集中していることから、デマンド型と定時定路線型を併せた運行についても検討しているところです。移行によって児童生徒が混乱しないような運行方法となるとともに、市の補助金支出の改善につながるよう検討したいと考えています。加えて、本路線が陸路における唯一の都市間交通となりますので、持続的な運行方法および運行体制となるよう検討します。

質 今後、松浦市が目指す地域公共交通の方向性をどのように考えているのか、市長の見解を伺いたい。

市長 本市が目指す地域公共交通については、「松浦市での生活を支える公共交通」「児童生徒の通学を支える公共交通」「住民及び観光客に向けた情報発信がされている公共交通」「最適化された公共交通」「みんなで支える公共交通」「環境にやさしい公共交通」の6つの方向性のほか、地域公共交通計画に掲げる将来像である「松浦市に住み続けるための持続可能な公共交通ネットワーク」の実現を目指します。